

島を巡る。 島を歩く。

瀬戸内・夏模様

穏やかな海に緑の島々が重なり合うように続きます。

いろいろなカタチをした橋やゆっくりと行き交う船。

そして、そこには人の暮らしがあります。

どんどん人口は減っていますが、

そんな瀬戸内海の風景は外国の人や若い人にも人気で、

今や「しまなみ海道」は自転車が一つの風景となっています。

ところが、ゆったりとした「島時間」を持って余ってしまう私たち。

今年の夏は、観光ではなく島時間を楽しみに出かけましょう。

小さなカフェで島影を霞ませる雨をながめて過ごす何もしない時間。

あなたの内なる声が聞こえてきますよ。きっと…。

文・黒川寿明 編集部 写真・黒川寿明

因島(広島県)・土生の天狗山にある因島公園の展望台から見た瀬戸内海の夕暮れ。眼前から横に2つ小さな島を従えた生名島(愛媛県)、岩城島(愛媛県)、生口島(広島県)、そして大三島(愛媛県)